

---

# 逢

V.W-PIECE.V

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

逢

### 【ΖΖΠ-Δ】

Ζ56740

### 【作者名】

∨・W・PIECE・∨

### 【あらすじ】

今は特に考えていないのとまた、考えつき次第かきまく

## 出版記（前書き）

つまらない上に誤字脱字が多い作品だと思いますがあたたかい田で見守つてください。

アドバイスなどを下さつたりしていただけると嬉しいです

## 出会い

ある日曜日のこと

俺は、暇つぶしに河原を歩いていた。

親友の剛広たかひろと遊ぶ約束が入っていたのだが、剛広が急にバスケットボール部の練習が入ったと言われ、暇になってしまったのだ。

河原をのんびり歩いていると川から人の声が聞こえてきた。川を見てみると人が溺れていた。

俺は、羽織つていた服を脱ぎ捨てすぐにその人を助けに川に入つていった。

溺れていた人は、15歳位の女の子だった。

「大丈夫？」

そう話し掛け、さつき脱ぎ捨てた上着を羽織らせてあげた。

「ちっ」

今舌打ちされたような

「…あんた。体目当てで助けたでしょ…」

！

この人いきなりとんでもないことを言い出した。

「違うよ。ところで君何歳？名前は？」

「はあ？ なんで教えなきゃいけないのよ？」

… この人怖い…

こいつときは、逃げた方がいいのかな？  
俺は、そう思い帰ろうとした。その時

「ちょっと…待ちなさいよ！」

「…何？」

「一応助けて貰つたから、お礼してあげるわよー。」

「いいよ、お礼なんて！」

「はあ？ この私がお礼してあげるって言つてんのよ～少しほ、嬉しがりなさいよ！」

この展開見たことあるよ！

断つたら無理矢理お礼されるんだっけ？  
よし！ やってみよう！

「怖いから、遠慮しとく……

結果

無理矢理この女の子の部屋に連れ込まれてしまつた。

「お風呂入つて来るから、逃げないでそこの座つてなさいよー。」

「はー…」

怖いので逆らえない…  
てか、この展開やばいんじゃないかな?

10分後

女の子が着替えた状態で部屋に入ってきた。  
別に変な期待はしていないから…

「ところで貴方名前は?」

「え?」

「だから、名前は?」

「え…と、か…名前を聞くときは自分からだぞー。」  
一発殴られた( )

「わ、私の名前は、幸。  
宮野幸よ!」

で、貴方は?」

「俺は、瀬山海斗」

「へ～海斗って言つんだ?ちなみに何歳?」

「17。高一だ…」

「高一!?私と一緒にだね!」

私は、16歳だよ?」

「へへ。今思つたんだけど町野さん「幸でいいよ」

「え…と、幸わふ「幸つて呼び捨てでいいよ。もしくは、様付けで  
も…」

「…幸の声どこのかで聞いたことあるよつな『氣』がするんだけど俺と会  
つたことある?」

「知らないけど、私この高校の生徒会長やつてるから聞いたこと  
あるんじゃなー?」

「セレの高校つてあの辺から見える高校?」

「セレ以外にセレ高校があるの?」

「同じ高校だったのか…」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5674o/>

---

逢

2010年10月29日05時06分発行